

筆者が乗車実験

# お得な「分割きっぷ」でJRの旅に出かけよう!

分割きっぷを購入する筆者

分割きっぷを購入する筆者



千葉～新富士間家族5人で3700円の節約!!

「分割きっぷ」をどう存じだろうか。JRでは目的地までの切符をこま切れに分けて買うだけで、通常の運賃が安くなる区間があるというのだ。春休みの旅行シーズン、ちょっとした手間と工夫で乗車運賃を節約しながら、鉄道で楽しく移動する方法を試してみた。ジャーナリスト 柳原二佳

「JRの切符を分割して買うだけでも運賃が安くなることがあるって知つてた?」

「それって逆じゃない?」

「途中下車したほうが高くなるのは当たり前だと思いついたのだが、よくよく聞いてみると、乗車駅で切符を分割して買うだけで、途中の駅で下車する必要はない、移動時間のロスもない」という。

同じ距離を移動するのに、運賃が安くなるなんてことが本当にあるのだろうか。そこで、半信半疑ではあつたが、分割きっぷを買って、乗車実験を決行! 区間はJR千葉駅からJR新富士駅までの片道185・4キロで、在来線と新幹線に乗つて移動してみるこ

## 分割すると高くなるケースもある

り割安になる場合がある。  
③他の鉄道会社線と競合する一部区間では特定の安い運賃を設定しているため、その境界駅で分割した場合に割安になる場合がある。

①JRの運賃は、営業キロが11・50キロは5キロごと、51・100キロは10キロごとというように、一定のキロ区分ごとに定められている。そのため分割購入した場合のため分割購入した場合の算出に用いる営業キロの合計が、通しで購入した場合よりも小さくなり、割安になる場合がある。

②乗車区間によつて1キロあたりの運賃が異なることがある。たとえば利用客の多い首都圏で山手線を含む「電車特定区間」は賃率が安くなつており、二つ以上の運賃種類が存在する区間によって計算される。この場合に、通しで購入するよ

うで購入することもできるが、なんとなく恥ずかしいし、後に並んでいる人を待たせるのも気が引けるので、人気のなかつた特急券用の券売機で購入することに。ちょっと時間はかかるが、メモを見ながら画面の乗車駅と降車駅のボタンを押し、1枚ずつ購入していく。

まず、「行き」の乗車券(千

円)と「帰り」の乗車券(千円)で購入すると、往復3700円の節約になる。

さて、帰りは駅員にどんな顔をされるのか、ちょっと不安ではあつたが、新富士駅の改札口で「分割きっぷでます」と、クリップで挟んで5枚まとめた切符をにこやかに手渡してみた。

り乗車駅と降車駅のボタンを押すと、JRの回答にもある「定区間」なるものが存在し、距離と運賃は必ずしも比例していないようだ。ちなみに、今回の乗車実験では、新富士より手前の駅を目的地にするとどのくらい安くなるか試算してみたのだが、小田原では310円、熱海では300円、三島では40円という結果になつた。

ただし、切符を分割購入するという方法はJRとして公式には案内しておらず、自動券売機を使って分割購入することは自由だし、窓口でも客が申し出れば問題はなかった。分割きっぷのメ

リットが最大限に発揮できるのは、大都市圏周辺。定期的な病院通いや帰省、仕事などで同じ区間を頻繁に通う場合は、分割きっぷを使用する。定期券や定期券で購入すれば、さらに安くなる(通学定期は不可)。

「青春18きっぷ」が断然お得意だが、この切符の弱点は特急や新幹線に乗れないこと。この点では、少々強引かもしれないが、分割きっぷに軍配が上がるかもしれない。

3月12日には改正道路交通法が施行され、75歳以上の高齢ドライバーには免許更新時や違反時に認知機能検査が義務づけられた。警察庁では今後、年間1万5千人の高齢者が免許を失うと予測している。

ちよつとした時間と遊び心さえあれば、誰でも楽しみながら節約できる分割きっぷ。マイカーロード後ろ向きになりがちな人たちも、一度研究してみてはいかがだろうか。

葉(新富士)は通常どおり「とおし」の1枚切符で購入した。料金は3350円。「帰り」は「行き」との比較のため、新富士から千葉までの乗車券を分割した。

ネットの指示は、次の「5分割購入」だった。  
①新富士～東神奈川(1940円)  
②東神奈川～品川(290円)  
③品川～小岩(310円)  
④小岩～津田沼(220円)  
⑤津田沼～千葉(220円)  
以上を合計すると、2980円。つまり「行き」の3350円と比較すると、370円も安くなつた。その差額でおにぎりとお茶を買うことができるのだ。仮に家族5人で移動すると、往復3700円の節約になる。

さて、帰りは駅員にどんな顔をされるのか、ちょっと不安ではあつたが、新富士駅の改札口で「分割きっぷでます」と、クリップで挟んで5枚まとめた切符をにこやかに手渡してみた。

ただひとつ、切符を見比べて気づいたのは、とおしが、それを除けば通常とほとんど変わりなく移動でき、さらに節約もできることを実証できた。

購入時に少し手間がかかるが、それを除けば通常とほとんど変わらぬ移動で、車券を自動改札に入れ、車券を自動改札に一気に挿入するには躊躇したため、有人改札口で駅員に尋ねたところ、ここでも対応はごく普通で、「新富士から小岩までの切符3枚と特急券1枚を重ねて入れてください」とのこと。指示どおり4枚重ねて自動改札に入れ、難なく新幹線に乗つて家路についた。